

がん専門修練医 コース	対象者	原則として以下のいずれかに該当する一定レベル以上の経験と実績を有する医師を対象とする ・当センターのレジデント修了者 ・関連するサブスペシャリティ領域専門医等取得済みまたは取得見込み ・上記と同等の能力を有する医師
	研修目標	・頭頸部がん薬物療法のリーダー的立場になれるように、新たな治療の開発、臨床研究を立案、実践できる ようになること
	研修内容	・悪性腫瘍領域における治療開発やトランスレーショナルリサーチなど、高度な知識・技能を修得する ・外来診療も可能 ・機会に応じて、臨床試験や医師主導治験の事務局を担当する ・連携大学院制度を用いた学位取得も可能 ・原則として2年間の研修期間のうち12カ月間は選択した特定科で研修し、12カ月は自由選択
	研修の特色	・自分で研究テーマを選択することが可能であり、先端医療開発センター（基礎研究）などで研究を実施す ることも可能 ・その他は、正規レジデントコースと同様

レジデント 3年コース・ 2年コース	対象者	原則として以下の全ての条件を満たした医師を対象とする ・採用時に医師免許取得後3年目以降。上限はない ・基本領域専門医または認定医取得済みもしくは取得見込み
	研修目標	・頭頸部がん患者に最適な治療方針・薬物療法の提供できるようになること ・臨床研究を立案できるようになること
	研修内容	・がん診療や研究を幅広く経験できる3年コースを推奨 ・原則として、3年コースの3年目には外来診療も可能 ・2年コースは臨床ローテート主体 ・ローテーションはいずれの科を選択しても、腫瘍内科医として必要な基礎知識を習得することができ、「日 本臨床腫瘍学会専門医資格認定試験」を受験するために必要な症例数を経験することは可能 ・連携大学院制度を用いた学位取得も可能
	3年コース	・がん診療で必要とされる、薬物療法や緩和ケアなど幅広い経験が可能。さらに、臨床試験の企画やトラン スレーショナルリサーチなどにも携わることが可能 ・原則として24カ月間は選択した特定科で研修し、12カ月は他の内科、頭頸部外科、放射線診断科・放 射線治療科、病理・臨床検査科、緩和医療科・精神腫瘍科、先端医療開発センター（基礎研究）などを、 各自の希望に応じて選択してローテートする
	2年コース	・原則として12カ月間は選択した特定科で研修し、12カ月は他の内科、頭頸部外科、放射線診断科・放 射線治療科、病理・臨床検査科、緩和医療科・精神腫瘍科などを、各自の希望に応じて選択してローテ ートする
	研修の特色	・頭頸部癌の薬物療法、さらに毒性の強い化学放射線療法の支持療法に精通することができる。特に化学放 射線療法の完遂には、疼痛管理、感染管理、栄養管理など支持療法の実践が必須であるが、研修を通じて 当院を離れても実践できるようになる ・頭頸部には発声・嚥下・咀嚼など生命活動にとって重要な機能があり、機能温存や容貌の変化など治療方 針決定までのプロセスが非常に複雑であるが、他科との合同カンファレンスを通じて治療方針が理解でき るようになる ・JCOG 頭頸部がんグループでは新たな標準治療を目指して臨床試験を立案し、中心的役割を果たしている。 またわが国では頭頸部がんの新薬開発の拠点になっており、甲状腺がんも含めて数多くの治験（国際共同 試験）も実施している。最新の治療開発、今後承認される薬剤を一旦早く経験することができるのも大き な魅力である ・自分が興味を持ったテーマの臨床研究のプロトコル作成を通じて、自分で臨床研究を立案・実践できる ようになる

レジデント 短期コース	対象者	・原則として基本領域専門医取得済みもしくは取得見込みの医師 ・卒後年限に上下限なし
	研修目標	・頭頸部がん患者に最適な治療方針・薬物療法の提供できるようになること
	研修内容	・診療科所属で、基本的に他科ローテートは行わない。ローテート希望者は事前に要相談 ・最短3カ月から最長2年未満の期間在籍 ※原則として3カ月単位とする
	研修の特色	・頭頸部癌の薬物療法、さらに毒性の強い化学放射線療法の支持療法に精通することができる。特に化学放 射線療法の完遂には、疼痛管理、感染管理、栄養管理など支持療法の実践が必須であるが、研修を通じて 当院を離れても実践できるようになる ・頭頸部には発声・嚥下・咀嚼など生命活動にとって重要な機能があり、機能温存や容貌の変化など治療方 針決定までのプロセスが非常に複雑であるが、他科との合同カンファレンスを通じて治療方針が理解でき るようになる

専攻医 コース	対象者	基本領域専門医取得のため研修中の専攻医 下記の全ての条件を満たした医師を対象とする ・医学部卒業後3年目以降 ・専門医制度の連携施設として国立がん研究センター東病院を選択した専攻医
	研修目標	短期間の研修で、基本的ながんの診療経験を積むこと
	研修内容	・国立がん研究センター東病院に、3カ月単位、最長2年間在籍 ・希望に応じて関連各科等の診療科を、各科最短3カ月単位でローテーション
	研修の特色	研修者のニーズにあわせて柔軟な研修期間設定が可能